

同窓会だより

〒510-0882 四日市市追分1丁目9番34号 Tel.059-345-0036 Fax.059-347-2989
<http://www.kaiseiob.com>

半世紀以上前、東京・駒場にあった青春群像の舞台

幻の学生寮を たずねてみた

井の頭線で渋谷から2つ目、駒場東大前駅は、その名が示す通り東京大学駒場キャンパスと隣接しており、線路を挟んで北側一帯は全て東大の敷地になつている。他にも多数の教育機関や、前田家16代当主前田利為侯爵の本邸を残す駒場公園、民藝運動の中心人物だった柳宗悦により創設された日本民藝館など、歴史と文化が息づく街である。

かつてこの街に、都内近郊の大学へと進歩した海星出身者のための学生寮が存在した。その名は聖ラファエル学生寮。寮として使用されたのは今から半世紀以上前、66年4月から70年3月までのわずかに4年間だという。その後はカトリック教会聖堂となり、現在に至るまで地域の信仰の場として親しまれている。しかし、寮に関してはいかにせん遠い昔の話なので、これといった資料や文献も残されていない。いわば、幻の学生寮なのだ。こんな話を聞いた海星卒業生の血がうずくというもの。現地へ行けば何か手がかりが掴めるかもしれない。そんな淡い期待を抱きつつ、気づけば私は電車を乗り継いで駒場東大前へと向かっていた。

高級住宅街に佇む赤い屋根の聖堂

新緑がまぶしい5月の昼下がり。駅の西口改札を出ると、線路沿いを伝うように緩やかな上り坂が伸びる。行き交う若者たちの楽しげな様子に、この街が学生街であることを自然と感ぜられる。坂を登ると、瀟洒な住宅が立ち並び、都内とは思えないほどの静寂に包まれている。学生たちの活気と落ち着いた住環境が見事に調和したこの街は、どこか懐かしい風情がある。聖堂は、静かな街並みに溶け込むように行んでいた。赤い屋根の大きな邸宅と、いった外観で、「カトリック教会聖堂」と記された小さな看板を目にしなれば、ここが聖堂であるとは気づかないだろう。

4年前に亡くなられたロレンソ神父

「どちらさまですか」。インターホンが鳴らすと、小柄な男性が玄関から顔をのぞかせた。海星高校の出身者であることを告げると、彼「ムチア・ダニロ神父は警戒心を解くように穏やかに微笑み、私を建物の中へと招き入れてくださった。ダニロ神父は、世田谷区のセント・メリーズ・インターナショナル・スクールで学園付き司祭に就かれており、この日もちょうどお勤めから帰宅し、庭の手入れをされていたところだっ

た。12年の来日以来、生活を共にしていたロレンソ・エラントニア神父が4年前に91歳で帰天されたため、今はエドモンド・ウエラガラ神父ら4人でこの家を守っているという。エドモンド神父は04年から今年3月まで英語、道德の教師として海星で活躍されたので、20〜30代の卒業生には馴染み深いはずだ。かつてこの家が学生寮であったことをダニロ神父に説明すると、「ロレンソ神父なら寮のことも分かったかもしれないです。ねと残念そうに一言。しかし、長きにわたり日本で宣教活動を行われ、この駒場で95年から修道院長として尽力されたロレンソ神父であれば、寮に関して詳細をご存知だったとしても不思議ではない。ちなみに近隣の住民もすっかり代替わりしており、唯当時のことを知っていたような「電気屋のおじいさん」も、やはり数年前にご高齢でお亡くなりになりました。寮が閉鎖して54年。それだけ長い歳月が流れたということだ。

邸宅の大部分が当時と変わらぬ姿で現存

さて、建物の中は生活感のある邸宅といった感じ。とはいえ、どこにもある民家というわけではなく、木材をふんだんに使った



2024 建物の外観

▲現在の住人エドモンド神父。人懐こい笑顔と気さくなトークが魅力。



昔 建物の外観

▲高級住宅地の中でもひととき目を引く大きな邸宅。

筋トレ特化型ジム Fizik
MUSCLE & BEAUTY GYM
www.fizik.jp

桑名駅より徒歩5分 桑名市末広町53番地 ハイレジデンス松涛2F

サンジリシ
日本の風味 世界の調味

本社 / 〒511-0823 桑名市明正通 1-572-1
TEL 0594-22-3333
FAX 0594-23-3333
<http://www.san-j.co.jp/>

サンジリシ醸造株式会社

同窓会公式ウェブサイトも随時更新中。ぜひ一度ご覧ください!
<http://www.kaiseiob.com>

幻の学生寮をたずねてみた

重厚な床や、洗練された家具や調度品が高級住宅としての風格を漂わせる。「この家のほとんどは昔からそのまま残っています。屋根の色が違うところがあつた部分で、それ以外は何も変わっていません」とダニ口神父。言われてみれば、増築したという赤い屋根の2棟がオレンジ屋根の邸宅を両サイドから挟んでいる。

増築箇所を除くほとんどが当時のまま現存しているとは……。つぎ寮を閉鎖したタイミングで立て替えたもので、とばかり思っていたのだが、当時の建物が今もこうして残っていることに驚かされる。

西側の増築部分は聖堂として使われていて、日曜礼拝には近隣の国際大学や大使館の方を中心に、多いときには20人ほどお祈りに訪れるのだとか。この聖堂が地域の信者にとつていかに

重要な場所であるかが分かる。

恵まれた環境にあった「聖ラファエル寮」

学生寮より更に歴史をさかのぼると、この邸宅には元々、カトリックのシスター達が暮らしていたそう。それを66年にエスコロピオス修道会が土地ごと購入。当初より将来的に修道院として使うことを決めており、諸々の準備が

済むまで一時的に海星をはじめとしたカトリック系高校の出身者向けの学生寮を営んでいたという経緯を持つ。場所柄、周囲には社員寮や学生寮も多く、当時は道路を挟んで向かい側にテニスコート2面を配した有名企業の大らかな社員寮があつた。

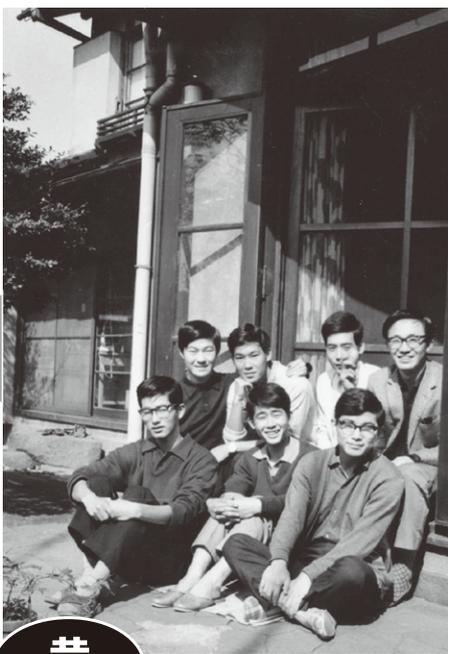
わずか4年の短期間に一生モノの友情や思い出が育まれた「聖ラファエル寮」。東京の大学生といえば風呂なし4畳半一間の木造アパートに住むのが当たり前の時代にあつて、都内の超一等地で食事付き、テレビも見られて、庭までキヤッチボールもできたと言つたら(3面の1座談会参照)、かなり恵まれた環境だったのは間違いない。

懐かしさと信仰が息づく場所
その他にも2年前に完成した新校舎、聖マリア館のこぢこぢな春に帰国されたドミニコ神父のことなど、海星の話題でひとしきり盛り上がり、ふと時計に目をやると既に1時間近くが経っていた。古きよき思い出と、現在の信者たちの祈りが共存するこの場所には、居心地のいい安らかな時間が流れていた。

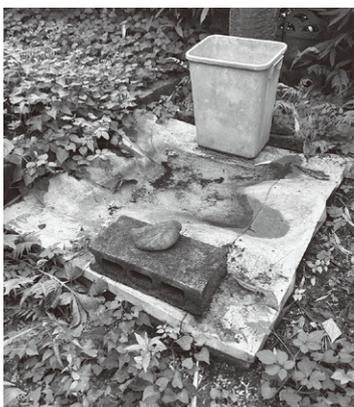
かつて諸先輩方が青春を過ごした、幻の学生寮。は確かに実在した。帰り際、あらためて外から建物に触れると深い歴史の端に触れたようで身が引き締まる思いがした。



2024 庭先 ▲緑豊かな家庭菜園が広がる。



昔 庭先 ▲当時の寮生たち。この場所で沢山の思い出が生まれた。



▲防空壕と思われる穴は重い蓋で閉じられている。

家庭菜園が広がる
60年近く経つても外観や内装は当時の姿を留める一方、時の流れと共に変わってきた部分もある。たとえば庭の東側に建てたという、寮母さんご家族が暮らしていた別宅は取り壊され、戦争の名残である防空壕も、それらしき場所は重たい蓋で塞がれていた。現在

「聖ラファエル寮で学生たちが青春を過ごした昭和40年代は、日本国中に学園紛争の嵐が吹き荒れた激動の時代だった。

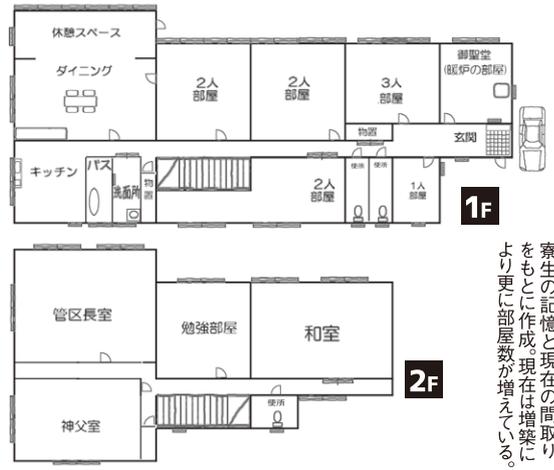
とりわけ東大生には参加学生が多く、69年1月の「安田講堂事件」では武装した機動隊に対して学生たちが投石や火炎瓶を使って応酬し、700人以上の負傷者、450人以上の逮捕者を出す大惨事となった。

その4か月後の5月13日には保守派論客の代表的存在でもあった作家の三島由紀夫が東大駒場キャンパスを訪れ

最後に、突然お邪魔したにもかかわらず温かくご対応いただいたダニ口神父、二度目の訪問時に楽しいお話をたくさんお聞かせいただいた工下モンド神父にはこの場を借りて心より感謝申し上げます。(広報委員会・廣瀬行人)

政治思想で真つ向から対立する学生達と激しい討論を繰り広げた。俗にいう「三島由紀夫対全共闘」である。その舞台となった、900番教室は、ラファエル寮から徒歩数分の距離に位置する。

一方、海星高校は65年夏に野球部が初の甲子園出場を果たした。大分県の強豪・津久見高校に4-1で敗れ、惜しくも1回戦敗退となったが、その後の躍進へと続く大きな一歩を踏み出した。ラファエル寮の1期生は、高校3年生の時にこの大会を見たことになる。



ラファエル寮間取り図(1965~1970年)

[機械部品加工]
(有) 常磐精機
☎ 059-352-4547

ゴミの事ならおまかせください
有限会社 **鈴清社**
〒513-0816 三重県鈴鹿市南玉垣町6269 TEL.059-382-3682 <https://reiseisha.com/>

ラーメン店「喜楽」さんの思い出を募集中。「よく行ったよ」という方、ぜひご連絡ください!
<http://www.kaiseiob.com>

聖ラファエル学生寮の思い出

今回、3人の元寮生にお集まりいただいた、当時の思い出などを語っていただきました。集まっていたいたのはこの特集のきっかけとなる話題をご提供いただいた早川雅章先生(16回生)、早川先生の大学の先輩でもある元東海ラジオアナウンサーの天野良春さん(14回生)、天野さんと同じく寮の1期生である加藤信生さん(14回生)。久々の学校で久々の対面とあって、お話しは大いに盛り上がりしました。



▲左から加藤さん、天野さん、早川先生。

ラカラ神父さんにすめられて…

天野 俺は昭和41年の4月に入学した時から4年間いたんですよ。
早川 僕が寮に入ったのは、天野さんが4年生の時。で、1年生の終わりに、廃寮になるからって追い出された。
天野 じゃ、寮は昭和45年の3月に終わってるんだ。
加藤 私も天野君と一緒に入寮した最初の生徒です。入寮は1年間だけ。兄貴が東京へ出てきたもんで、それから一緒に住まなきゃいけなくなつて。
早川 僕はラカラ神父さんに言われて、僕は父親に苦勞してたでしょ。だから寮を推薦してくれたんですよ。
天野 俺もラカラ神父さんだった。俺は大学が決まるのが遅かったんですよ。合格が決まったのが3月5日。それから相談したら「4月から寮があるから入りなさいよ」って。
加藤 当時は何も分からず、早川も、勧められたら素直にはいって、地獄を見て探して行った。
早川 寮は助かりましたよ。本当に。2万円ぐらいあったら食費も全部賄えたんですよ。

13人が五右衛門風呂を順番に…

早川 玄関入ったところが御聖堂でしたよ。母親に連れられて行ったとき、まずこへ通された。天野 もともと応接室やった部屋で、暖炉の上が祭壇になってる。御聖堂の隣りが3人部屋。向かいに1人部屋。階段の下に2人部屋があつて。
加藤 2階は3人部屋だつた。
天野 3人部屋と勉強部屋があつて、それから管区長と神父さんの部屋。1人部屋があつたり、もういふうだから、寮として作られた建物じゃないってことは、すぐ分かる。
加藤 みんな量の部屋で布団で寝たね。1人部屋だけはベッドあつた。日曜日ぐらいは寝かしてほしかったけど、神父さんが部屋へ来て起こすんですよ。「早く起きなさいよ」って。
早川 僕が寮に入ったときは、天野さんには玄関脇の1人部屋にみえました。門限が10時だったんですよ。部活が終わって戻ると、早く帰ると合わない。天野さんの部屋の窓を外

クリスマスパーティーは女子寮と一緒！

天野 洋式のトイレに慣れなくて、駅まで行った記憶がある。別に使えないわけではなんだけど、言つて、駅まで走つて行った記憶がある。
早川 あのへんは高級住宅地で…
加藤 そうですね。静かだね。ほんとに東京の高級住宅街。
天野 静かなところだつた。右側に住友の寮があつて、テニスコートがあつて、もうこう側にくると、おとろけ公園があつて、加藤隣の家は立派な家だつたんですよ。おばあさんが1人で犬1匹と住んでみえてね。庭でキャッチボールしてると、ボールが塀を越えて入つてしまつて、何度か怒られて。早川 庭で剣道やけど、覚えがあるんですよ。加藤 僕がその頃3段持ってたんで、女子寮の子の稽古相手したつてくれた。
加藤 来たつてあつた。天野 そうそう、食堂に呼んで、面と向かつて合コンみたいなのをやつた記憶がある。
早川 女子寮のお祭りみたいなのに連れていって、加藤 来たつてあつた。天野 うん、世田谷の桜新町にあった女子寮、エリザベト寮。
天野 クリスマスパーティもあつたね。
早川 女子寮の女子呼んでやりました。個人的に付き合つてる女の子を呼ぶつていうんじゃなくて、違う寮の子をまとめて呼んで。早川 なんか女子寮に行つた記憶は

夜中にラーメンを食へて帰ると…

加藤 根岸さんにはよう怒られた。なんかの都合で急に外で食へてきたら、怒られて、翌日なんかも天野 チャキチャキの江戸っ子で。さっぱりしてましたな。
早川 怒られた記憶しかない。
天野 食堂とかトイレとか共有部分は根岸さんが掃除してくれてたけど、自分たちの部屋の掃除や洗濯は小生たちで。早川 裏の小生に洗濯機が1台あるんで、順番待ちです。
加藤 人が洗濯しとるときに、コップと自分の洗濯物を洗濯機に入れた覚えあるわ。
早川 日常生活の中ではあんまり神父さんと対面

夜中にラーメンを食へて帰ると…

加藤 根岸さんにはよう怒られた。なんかの都合で急に外で食へてきたら、怒られて、翌日なんかも天野 チャキチャキの江戸っ子で。さっぱりしてましたな。
早川 怒られた記憶しかない。
天野 食堂とかトイレとか共有部分は根岸さんが掃除してくれてたけど、自分たちの部屋の掃除や洗濯は小生たちで。早川 裏の小生に洗濯機が1台あるんで、順番待ちです。
加藤 人が洗濯しとるときに、コップと自分の洗濯物を洗濯機に入れた覚えあるわ。
早川 日常生活の中ではあんまり神父さんと対面

夜中にラーメンを食へて帰ると…

加藤 根岸さんにはよう怒られた。なんかの都合で急に外で食へてきたら、怒られて、翌日なんかも天野 チャキチャキの江戸っ子で。さっぱりしてましたな。
早川 怒られた記憶しかない。
天野 食堂とかトイレとか共有部分は根岸さんが掃除してくれてたけど、自分たちの部屋の掃除や洗濯は小生たちで。早川 裏の小生に洗濯機が1台あるんで、順番待ちです。
加藤 人が洗濯しとるときに、コップと自分の洗濯物を洗濯機に入れた覚えあるわ。
早川 日常生活の中ではあんまり神父さんと対面

夜中にラーメンを食へて帰ると…

加藤 根岸さんにはよう怒られた。なんかの都合で急に外で食へてきたら、怒られて、翌日なんかも天野 チャキチャキの江戸っ子で。さっぱりしてましたな。
早川 怒られた記憶しかない。
天野 食堂とかトイレとか共有部分は根岸さんが掃除してくれてたけど、自分たちの部屋の掃除や洗濯は小生たちで。早川 裏の小生に洗濯機が1台あるんで、順番待ちです。
加藤 人が洗濯しとるときに、コップと自分の洗濯物を洗濯機に入れた覚えあるわ。
早川 日常生活の中ではあんまり神父さんと対面



▲当時の1枚。左が天野さん、右が加藤さん。

陶器木箱・食品木箱・モミ木箱・焼杉・製造販売
MSK 水谷製函株式会社
四日市市別名 5-4-37 059(331)6550

有限 二本松企画
会社
NKC
労働者派遣業・請負業
三重県鈴鹿市平野町465番地1 Tel.059-379-0066
<https://nihonmatsukikaku.co.jp/>

同窓会Facebookページも公開中! ぜひフォローしてください!
<https://www.facebook.com/kaiseidousoukai.mie/>

恩師をたずねて第14回 田中秀二先生

仰げば尊し我が師の恩。引退された恩師を訊ねて近況をつかおうがこの企画。今回お邪魔したのは、英語とサッカーで常に海星らしい「文武両道」を体現してこられた田中秀二先生(17回生)です。

梅雨時らしい湿り気を帯びた空気に庭の緑が鮮やかに見えました。今回お邪魔したのは四日市市八田にある田中秀二先生(17回生)のご自宅。現在は奥さんとお二人で暮らしておられます。

「藤田くんやな。懐かしいな。」

取材に同行したサッカー部OBに声をかけてくださいました。

「総体予選の決勝で俺に負けたんな。あの試合は教え子同士の対戦でさ。」

99年当時、海星の監督は青柳隆先生(35回生)です。対するは高校の監督は海津英志さん(33回生)。どちらも海星サッカー部のOBで、秀二先生の愛弟子でした。

50年生まれの秀二先生が海星高校に入学されたのは65年。サッカー部は創部4年目。同年日本サッカーリーグが開幕し、68年のメキシコ五輪では釜本邦茂ら日本代表が銅メダルを獲得。日本のサッカー界が盛り上がり始めた時代でした。

「当時、三菱重工の横山ってキーパーがカッコ良くてさ。ブルーのユニフォームもカッコ良くて。」

海星のブルーのユニフォームも、ここに原点があった

またたけよう。今でこそ住宅が建ち並ぶ八田地区も、当時はまだ一面に水田が広がっていました。

あまり知られていませんが、秀二先生のチョウウへの関心は筋金入り。日本ではあまり見られないアオタテハモドキの「迷蝶」を発見して新聞に取り上げられたこともありました。ご自身で採集した立派な標本をたくさんお持ちです。

中学時代には、人生を決める大きな出会いもありました。

「数学の先生で玉村つちゆう先生がおつて。今でも忘れへんけど、なんか職員室行った時に田中君、英語好きやで、英語の先生にならんか」と。それが頭に残っちゃってさめようになつて。」

もちろん「生物」が大好きで得意でしたが、残念ながら理科は「化学」が苦手。それに対して、好みも実力も番だったのが「英語」でした。英語教師への道を開いたのは、まさに玉村先生の一言だったわけですね。

海星で出会った小林克彦先生(10回生)の授業も英語好きに拍車をかけました。

「面白くてさ、授業が。」

当時のノートも拝見しましたが、それは一見して分かる「できる子」のノート。細かな文法の知識などが綺麗な文字で書き込まれており、授業の内容がかなり濃密だったことがうかがえます。秀二先生の英語もそのようなタイプの授業だったそう。



▲自ら作られたチョウの標本の一部。几帳面なお人柄がうかがえる。

「細かいこといろいろ説明してな。今は流行らん授業やわ。」

そうおっしゃいますが、高校時代の秀二先生の「面白い」と感じた生徒も大勢いたことでしょう。南山大学の英文科に進まれた秀二先生。米国の作家エドガー・アラン・ポーの研究を行いました。

「大学時代は楽しくてしゃあなかった。女生徒と半々の英文科やから(笑)」

男子校時代の「海星OBあるある」ですね。大学3年ではお父様の提案で海外研修も経験されました。

田中家。秀二先生も子どもの頃は田畑の仕事をよく手伝われたそうです。その頃までの日本では、農家の子は農家を継ぐのが当たり前でした。

「意外とね、親父、好きなことやらしてくれたね。」

高校進学すら当たり前ではなかった時代。日本社会が大きく変化の中で、お父様は国際化が進む新しい時代の空気を感知取っておられたのでしょ。

「親父ね、ずっと百姓

しよるけど、世界青少年交流協会なんのに入つて。」

世界青少年交流協会は、当時衆議院議員だった川崎秀二さんが65年に設立した団体で国際的な視野を持つ青年の育成を目的としていました。息子に「秀二」と名付けるほど川崎さんに心酔していたお父様の勧めで秀二先生はドイツを訪れることになりました。

「お前、今はちよつと外国行つて見てこなあかんね」と。

ドイツについても当時訪問できたのは「西ドイツ」。敵対していたり連立空の通過を避けるため、アラスカのアンカレッジ経由でしかヨーロッパに行けなかった時代。まさに冷戦の最中でした。対立の最前線にあった西ドイツには暗い印象が強かったとおっしゃいます。

「壁」としてリアルに機能していた「ベルリンの壁」も、間近に生で目にしてこられました。

「今から思うと一番感受性の高い時やつたからね。」

今ほど海外の情報に触れることのなかった当時のこと。ホームステイを含むドイツ滞在は、秀二先生の国際感覚やコ

ミニケーションスキルに大きな影響を与えたに違いありません。大学卒業と同時に海星高校の非常勤講師としてキャリアをスタート。76年には専任教諭として正規採用され、前年からコーチとして関わっていたサッカー部の顧問にも就任。これを機に、学生時代から交際していた今の奥さまと結婚されました。

英語の授業は小林先生仕込みの楽しい授業でした。ドイツ訪問は貴重な経験だったに違いなく、秀二先生の授業が世界に目を向けるきっかけになったという生徒も多かったことでしょう。海外研修の引率も5回担当されました。

76年5月21日。この日の1戦がサッカー指導者としての秀二先生の大きなターニングポイントとなりました。

「桑名工業に6対2で勝つたんですわ。教えたことを教えたとおりに生徒たちがやってくれてね。面白いように点が入つてさ。そこでサッカーにのめり込んだ。」

チョウウの標本と同様、秀二先生はサッカー部の活動もこまめに記録を付けておられました。当時のノートにはこの試合の試合結果「6-2」の文字だけがとりわけ濃く記入されています。

ノートからはほぼ毎週、週末に試合が組まれていたことも分かります。97年には現在の場所に新居を建てられましたが、家を空けることが多くなつてしまったそうなんです。

そんなふたに、熱心に指導に取り組んでいたサッカー部で

株式会社 桑名総合警備保障
〒511-0834 三重県桑名市大字大福字宮東 356
TEL (0594) 25-1128 (代) FAX (0594) 24-8823

おいしさ・たのしさ・いいもの・いつでも
株式会社 きゅうざい
☎059 (347) 8500

SAFETY・SPEEDY・SINCERITY
朝日土木株式会社
〒510-0033 三重県四日市市川原町32番1号
TEL.059-331-1146(代)
web
孤野営業所・鈴鹿営業所・伊勢営業所・三重リサイクルセンター・山城作業所

三重からJリーグへ —— ヴィアティン三重 ——



93年に10クラブでスタートしたJリーグは、30年の時を経て日本全国に60クラブが誕生するまでに成長した。Jリーグに属するクラブがないJリーグなし県は、三重県を含め6県。しかしながら、三重県にもJリーグ入りを目指すクラブが存在する。「ヴィアティン三重」である。

そして、北勢地域を本拠地とする「ヴィアティン三重」の代表取締役社長が、海星OBの後藤大介さん(41回生)だ。クラブ設立の経緯から、海星時代の思い出、今後の展望などを聞いた。

普段はスポンサー営業や自治体との打ち合わせに、試合当日は関係者やスタジアム出店者などへの挨拶に駆け回る。来年50歳を迎えるが、細身のスポーツを身に纏い、発測とした笑顔が印象的だ。

桑名市で製造業を営む会社の3代目として生まれ、後藤さんは、そんな環境から、「自営業に興味はあったが、親の跡を継ぐ気はなかった」と振り返る。

「親父と一緒には仕事できないな」と思っていて(笑)「家業を継がず就職した商社で経験した中国出張が、最初のターニングポイントとなった。」

「海外での仕事は本当に楽しくて。人との出会いも多く、刺激的でした」その後、商社を退社して中国で起業。社長として3年、現地に滞在することで、故郷や家業に対する想いにも変化があり、「跡を継ぐ」と決めて帰国。家業の工場で働いたが、ほどなくしてリーマンショックが起これ、大打撃を受けた。

「新しいことを始めなければ」と考えたとき、中国で目の当たりにした光景が蘇ってきた。みんな必死に、目を輝かせながら仕事をしている。対照的に日本は元気がなかった。未来を担う子どもたちにワクワクできるコンテンツを提供したいと思ったのです。

桑名、四日市や名古屋の大須に小学生対象の「ものづくり教室」を開いたところ、たくさんのおもたてが集まった。それで今度は、「外で遊ぶことが少なくなった子どもたちに、体を動かす場所を与えたい」と思った。ちょうど、息子が生まれた時期だった。

「その頃に、たまたま異業種交流の場で『スポーツを通じた教育』に関心があることを話したら、グラブの立ち上げにも携わった方を紹介してもらってその縁でオランダに視察に行く機会があった。」

そのときに見た光景が「ヴィアティン設立のきっかけとなった。複合的なスポーツクラブで、様々なスポーツを、子どもから高齢者まで、目的やレベルに合わせて、各々のペースに楽しんでもいい。そんな場所を、故郷でも提供したいと思った。欧州では、小さなアマチュアのクラブとなさへ、「街のシンボル」として地域に根付いている。それがプロクラブであれば、地域により大きな経済効果が生まれ、子供たちにもなり得る。」

そして、この「地域に根ざしたプロサッカークラブ」は、Jリーグが掲げる理念とも合致する。目指す方向性は、はっきりと定まった。

「草創期のヴィアティンを指導者として支えたのは海星OBでもある海津英志さん(33回生)だ。当時は予算も少なく、スタッフも手弁当同然。サッカースクールの運営など、収益が

徐々に増えることもない地元の出身のJリーグ経験者も続々加入。戦力も充実し、創設から3年後には県代表として天皇杯に出場。敗れたがセレッソ大阪と延長戦を戦うまでに成長した。12年目を迎える今季はJFLで戦う。昇格の条件であるJ3ライセンスを取得し、J3入会審査をクリアしているのはJFLではヴィアティンを含め5クラブ。今季、JFLで2位以内に入り(2位の場合はJ3下位チームとの入れ替え戦に勝利することが条件)、本拠地での平均観客動員数が2000人を達成できればJリーグ入りが叶う。

今年6月に四日市中央緑地公園で行われたリーグ戦には、目標を大幅に上回る3114人が来場し、強豪のHonda FCに初勝利を収め、大きな盛り上がりを見せた。6月末時点で、勝ち点は平均観客動員数も、1851人と目標に迫っている。

高校時代はサッカーとの接点がほとんどなかったと語る後藤さん。

「大学生のときにアメリカカW杯があって、仲間内で集まって観て、かなりハマりましたね。サッカーに興味を持つきっかけになりました。」

その前年には日本でも



▲試合前、続々と結集するサポーター

Jリーグが開幕し、大きな盛り上がりを見せている。一学生ときは休み時間は野球が中心でしたが、時々サッカーをすることもありました。部活での経験はないですが、息子たちが小さいときには公園で一緒にボールを蹴ることがありましたね。動画で勉強して息子と一緒に自分も練習していたのかもしれないですね。」

既にバレーボールやバスケットボールなどのサッカー以外のクラブも設立。オランダ語で「14」を意味する「ヴィアティン」の名のとおり、最終的には14種類のスポーツクラブを運営することが目標だ。

学生時代に最も親しんだのはテニス。中学ではテニス部で、大学でも海星テニス時代からの友人とテニスサークルを立ち上げたほどだ。

「だから、ヴィアティンにテニス部門をつくるのは最後と決めていて。テニスについては三重県に影響のある先生がいて、施設が整えられていたり、全大会で優勝したりされてお話を聞くことが全く無いので、我々が参入する必要は低いと思います。サッカーは強豪高校が複数あったり、日本代表選手を輩出したり子供たちが育つ環境は整っています。Jクラブは未だにない

ので、ヴィアティンで活動を始めて良かったと思っています。」

海星で、テニス部の顧問だったのは下村和之先生。ヴィアティン設立前にフエアトレードの活動をしていたときに、僕が主宰していることを知っていたのでいたように、クラブを立ち上げてからもご連絡いただいたことがあり、嬉しかったですね。今はJリーグ入りを目指して社長業に邁進する後藤さん。海星での思い出は？と尋ねると、少しはつづの悪そうなお話を浮かべた。

「やんちゃ盛りで、怒られたからねえ。先生がたはみなさん怖かった。ちょうど「ピーパップ・ハイスピード」が流行っていた時代。ワルい友達がいっぱいいました(笑)。」

中高時代は「とにかくマイナオ思考だった」と振り返る。「短期留学とかホームステイの機会もあったのに、当時の自分は行く気がなかった。行っておけば良かったと今になって思っています。」

現在も海星には、海外留学をはじめとして、生徒の意欲や希望に応える制度が充実している。海外経験が人生の転機となった後藤さんは、「海外出張の話があった時も、行ってみたら楽しかった。学校生活や学園祭などのイベントも、積極的に参加することで、きつと得るものがあるはず。自戒の念も込めて、地域の学校でキャリア教育の講演をさせて頂くとき、生徒たちには必ず伝えています。」

行動すること、必ず道は開ける。ヴィアティンとともに、まだ先のゴールへ走り続ける。

(広報委員会 荒木佳佳)

不動産有効活用の企画提案・仲介、測量・設計・開発申請許可、建築設計、土木・建築工事

CHOKO
株式会社 長工

TEL.059-351-0133
FAX.059-351-0197
https://www.choko-group.jp/

〒510-0071 三重県四日市市西浦一丁目6番4号 ステルス4F

桑名・長島温泉名物

安永餅

本店/桑名市有楽町35 ☎0594-22-0327 (株)永餅屋老舗

TransRingGroup
TRG 池畑運送株式会社

四日市市新正3丁目12番3号 Tel.059-353-7566

旅のことなら・・・

TRAVELUX
トラベラックス

〒510-0833 三重県四日市市中川原 3-6-13
TEL:059-356-3100 FAX:059-356-3105
www.travelux.jp E-mail:info@travelux.jp 三重県知事登録旅行業第 3-233 号

本誌「同窓会だより」に広告を掲載しませんか?
お問い合わせは広報委員会(電話070-5407-3925/担当:上田)



▲今回も同窓会模擬店は大人気。長い行列ができました。



▲星援会のみなさんと和気あいあい。

海星高校を卒業し、縁があり同窓会役員となり月日が流れたある日のこと。海星祭への模擬店出店にあたり、役員で情報共有しているLINEにアナウンスが流れる。日時を確認すると、参加可能な時間。卒業してから、20年以上母校の敷地に入ったことがないなと考へながら、参加しようとする。誰かに会いに行く時と同じような、ワクワクする気持ちだった。ことを今でも覚えていて、

「23年10月22日(日)海星祭当日、天候は良好。ワクワクした気持ちを維持しながら校門へ。何名かの立っておられた先生方におはようございます。よろしくお願ひします。」

と挨拶。学生の頃には感じなかった、挨拶の気持ち良さを感じた(社会人になった今、挨拶は基本ですが)。模擬店の場所へ向かうと既に数名の役員が集まっており準備が始まっている。海星祭開始までまだまだ時間があるが、役員の手際が良さで準備が迅速に進む。唐揚げとコロツケ用の肉は既に切っており、あとは揚げるだけ。ふと時間を確認するとまだまだ時間がある。手際が良さすぎる。余裕のあるタイミングで会長中心に陣が組まれた。役員の紹介や助っ人の紹介などで、その

場の空気がとても和んだ。挨拶して会話してみると、実はご近所さんだったり面白い。私より若い方も参加しており、同窓会の活動は本当に幅広い世代で支えられているのだなと実感した。

いよいよ、海星祭が始まる10分前となる。まだお昼時ではないから、お客さんはそれほど並ばないだろうと思いつつ、唐揚げを揚げてから、最初に売冷めてしまわないかなあ」と思っている頃、海星祭が始まった。始まった途端、学生たちが笑顔で走ってきて唐揚げとコロツケの前へ冷めてしまわないかなあ、不安だった唐揚げやコロツケは一瞬にして学生の胃袋の中へ。そこから、途切れることなく常に行列が続く。揚げ、詰める、会計、補充。役割がわけても決まっていたわけでもないのに、適宜役員が声を掛け合っ配置が決まる。その光景を目にするだけでも面白く感じた。今初めて、保護者の会である「星援会」か

らも有志のみなさんが協力してくださった。同窓会と星援会の息の合った模擬店も、海星祭が開催されたからこそ実現できた素敵な空



▲若いOBたちの協力は頼もしい限りです。



両会が協力して様々な取り組みを

コロナ明け2年ぶりのオープンな海星祭。3年生にとって最後のイベントということもあり、さらに盛り上げられる企画は何かないかと探しておりました。そんな時、同窓会さんが模擬店を出すとお聞きし、「ぜひお手伝いしたい」と役員と有志のみなさんと参加させていただきました。

他にも美味しそうなキッチンカーが並ぶなかで、たくさんの子もたちが買いに来てくれて、しかも出来るのを待つくらいの人気がしたね。OBの方たちと話したり、待っている子どもたちと会話したり、とても近いところから

海星祭を私たちが楽しむことが出来ました。参加してくださったみなさんが、どなたも楽しんでお手伝いしてくださっていたのも、本当に嬉しかったです。

同窓会さんと一緒に活動していくことで、これからの星援会はもっと大きな規模で子どもたちの楽しい学校生活をサポートできると確信しました。どうせやるなら子どもたちと一緒に「楽しかった」と言ってもらえるような企画を！星援会はこのことから同窓会さんの協力も取り組みを企画していきたいと思ひます。

(前高校星援会長 小島桂子)

鳥金 良き食の品を伝えたい。
松坂牛協会会員指定第425号 426号

■松本店 四日市市松本 2丁目6-26 Tel.059-352-2983
■中部近鉄百貨店 四日市店 Tel.059-353-5151

経営者の皆さん! **売れるホームページにリニューアルしませんか?**

ウェブから集客できますか? 良い人材を採用できていますか?

BASE 株式会社ベース <https://base-net.co.jp>
ホームページはコチラ

三重県四日市市栄町 4-14 ☎(059)355-3939

株式会社 **ニューポート**
TEL:059-345-1401

給食、レストラン部門、弁当・受託部門(社員食堂、厚生施設)

TODC
帝産大鐘ダイカスト工業株式会社

〒512-8053 三重県四日市市大鐘町字安田1245番地 MAIL info@oganedc.com
TEL 059-337-0152 WEB https://www.oganedc.com
FAX 059-337-1539

海星高等学校同窓会 会計報告

【令和4年9月1日～令和5年8月31日】

Table with financial data: 収入の部 (Revenue) and 支出の部 (Expenditure). Total revenue: 12,446,058円. Total expenditure: 12,446,058円.

総会報告

23年10月28日に都ホテル四日市4階伊勢の間で2年に1度の総会が開催されました。



挨拶する水谷 郎(会長) (32回生)。息のあった演奏には兄弟共演ならではの温かさがあふれました。

海星高等学校同窓会「星の窓基金」特別会計報告

【令和4年9月1日～令和5年8月31日】

Table with financial data for the special fund: 収入の部 (Revenue) and 支出の部 (Expenditure). Total revenue: 4,788,635円. Total expenditure: 4,788,635円.

「星の窓基金」は経済的困難に直面する在校生を支援する目的で設立された、会員の篤志による同窓会独自の教育奨学基金です。

した。本格的なクラシック曲の他、津軽海峡冬景色や「天城越え」など、おなじみの曲も演奏され、会場には素晴らしい音色が響きわたりました。

（広報委員会・萩田涼太）

編集後記

「あぶない刑事」の新作映画が大ヒットを記録しました。青春時代を「あぶ刑事」と過ごした者としては嬉しい話です。

西田有志選手 五輪壮行会

24年7月6日に海星高校体育館で、パリオリピックの男子バレーボール日本代表・西田有志選手(66回生)の壮行会が開催されました。

同窓会懇親ゴルフコンペ

第26回(第27回同窓会懇親ゴルフコンペ)の成績は次のとおりでした(敬称略)。

- 第26回(23年11月24日開催) ①井口高志(32回生) ②松本卓也(33回生) ③澤部敏夫(16回生) (第27回) (24年5月10日開催) ①岡田充弘(39回生) ②寺田治男(15回生) ③片野田信(23回生)

第28回懇親ゴルフコンペを以下のとおり開催します。みなさんふっつてご参加ください。(開催日時) 24年10月11(金) アウト・イン8時45分スタート

開催場所 三鈴カントリー倶楽部(鈴鹿市小社町七六七) / 東名阪鈴鹿インターより車で4分 / TEL 059-371-1551 (料金) 天、四〇〇円(税込) (セルフプレー、昼食、パーティー、賞品、昼食時、パーティー時、茶店各ードリンク付き) (お問い合わせ・お申し込み) コベ実行委員会・水谷メール info@mizutaiseikan.com FAX 059-333-2406 TEL 090-4193-14490

小林秀輔税理士事務所 TEL: (059) 353-3232 MAIL: 00105@k-kaikei.jp

不動産に関するご相談など、お気軽にお申し付けください。株式会社 中村不動産 宅地建物取引業免許 三重県知事(12)第1221号 本社/三重県四日市市芝田1丁目10番10号 0120-928-916 www.narec.co.jp

AEON CARD イオンマークのカードで おトクなお店 詳しくは、暮らしのマネーサイトにて今すぐチェック! イオンマークのカード 優待 検索

同窓会公式ウェブサイトでは本誌バックナンバーを公開中。ぜひご覧ください。 http://www.kaiseiob.com